

中村市長の

ちよつとよ
聞いしてよ

今月のテーマは…

「西尾の魅力为全国へ！」

愛知デスティネーション
キャンペーン



西尾市には魅力的な観光資源がたくさんあります。全国から観光客を呼び込むことで人と人との輪を広げ、活力と魅力あふれるまちを実現します。

「観光客を呼び込む「西尾の魅力」とは何ですか。」

市長 「西尾の魅力」は、特産品や観光スポット、祭りなどの観光資源が市内に数多くあることです。まるやかな味わいの「西尾の抹茶」、ふっくら厚い身の「一色産うなぎ」、素朴な味わいが幅広い世代に愛されている「三河一色えびせんべい」は、特許庁の地域ブランドに登録されています。県内の18のうち、3つが西尾市にあるのです。その他にもイチゴやイチジク、キュウリ、カーネーションなど、全国に誇る特産品がたくさんあります。また、アートの島として若い女性に人気の佐久島や、あじさいが咲き誇る三ヶ根山が観光スポットとして有名です。三河一色大提灯まつりや鳥羽の火祭りなど、文化的価値が高い祭りも多くあります。これだけの観光資源を持つまちは、他にないのではないのでしょうか。

「西尾の魅力」を伝えるために取り組んでいることは。

市長 魅力ある観光施設の整備や、体験メニューの充実などに取り組んでいます。現在目指しているのは、「西尾城二之丸丑寅櫓と土塀」の早期完成です。市民の皆さんが誇る市のシンボルとなるよう、丑寅櫓は史実に近い形で木造によ

る再建を考えています。また、茶摘み体験ツアーや塩田体験館での塩作り体験など、観光客が地域の方と一緒に楽しめる滞在体験交流型観光にも力を入れています。

西尾ならではの楽しみ方を提案することで魅力を伝え、「来てよかった」「また来たい」と観光客に思っていたいただきたいですね。その他、西尾市の宣伝も重視しています。市外の観光展や物産展などへの出展や、テレビ・映画のロケ地を誘致するフィルムコミッションに取り組んでいます。来年の春には、佐久島で撮影された映画「ねことじいちゃん」が公開される予定です。さまざまな方法でPRし、多くの方に西尾市の魅力を伝えたいと思います。今年10月から12月に「愛知デスティネーションキャンペーン」が開催されるため、その良いきっかけになると考えています。



愛知デスティネーションキャンペーン
ロゴマーク



「愛知デスティネーションキャンペーン」とは何ですか。

市長 JRグループと愛知県が協力して行う全国規模の観光キャンペーンです。県内の市町村が観光資源や観光客の受け入れ態勢を整え、JRグループが全国に宣伝し、観光客を呼び込むことで地域の活性化を図ります。愛知県では、愛・地球博があった平成17年以来の開催です。全国のJRの駅やテレビ番組・CMで愛知県が取り上げられるため、西尾市を全国にPRできる絶好の機会と捉えています。多くの方に西尾市を訪れてもらえるよう、旅行会社への売り込みや、観光展などへの参加を積極的にしていきます。

事業の内容について、詳しくは
商工観光課観光担当（☎65・2169）へお問い合わせいただくか、
生涯学習課の出前講座（☎55・3515）をご利用ください。

受け継がれる歴史と伝統 西尾の秋まつり

10月21日(日)
午前10時



おまんと祭まつり

場中畑八幡社
(中畑町)

内中畑八幡社境内にある1周約120mの円形馬場の中で、青年が馬の首につかまり、快走する人馬一体の祭りです。

10月21日(日)
午前10時



ぼうての棒

場田貫神明社(田貫町)

内「エイヤ」「トオー」という勇ましい掛け声とともに、六尺棒の見事な棒さばきが見られます。

てんぐまつり 天狗祭

場高倉神社(平口町)

内昭和59年に始まった祭りです。高さ1.65mの大天狗のみこしを、赤装束に赤面の厄男たちが担ぎます。



10月21日(日)
午後1時30分

10月21日(日)
午後2時



うまかけしんじ 馬駈神事

場瀬門明社(吉良町)

内吉良町瀬戸、寺嶋、駈馬の3地区で祭る瀬門神社の祭礼です。地元の人々が古式により飾り馬を奉納し、馬場で馬駈けを行います。

10月21日(日)
午後3時



おひつわり 御櫃割

場室神明社(室町)

内赤飯を食べて無病息災を祈願する農業祭です。おひつを厄男たちが奪い合い、ふたをたたき割ります。

10月28日(日)
午後2時

めんそさい 棉祖祭

場天竹神社(天竹町)

内棉の実を伝えた綿翁じん人を棉神様として祭る神社で、古式の道具で棉打ちの儀式が行われます。

